

愛媛県におけるムネアカハラビロカマキリの追加記録

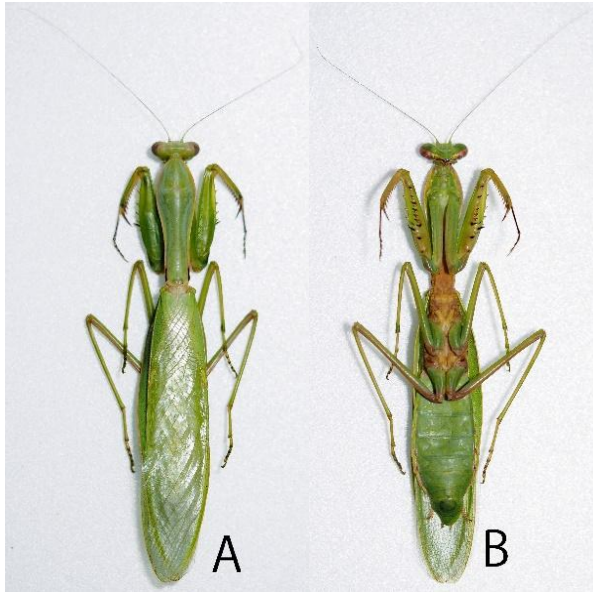
安田昂平¹・武智礼央²¹ 面河山岳博物館² 西条自然学校

写真1 *Hierodula chinensis* Werner, 1929
ムネアカハラビロカマキリ, 全長(頭部～翅端) 77mm, A: 背面, B: 同個体腹面

種の記録

Mantidae カマキリ科

Hierodula chinensis Werner, 1929

ムネアカハラビロカマキリ(写真1)

標本 採集年月日: 2025年9月24日, 採集場所: 愛媛県東温市下林(33.769175N, 132.885978E), 採集方法: 見つけ採り, 個体数: 1♂, 採集者: 武智礼央, 標本保管: 武智礼央個人コレクション(写真1). 採集年月日: 2025年10月1–2日, 採集場所: 愛媛県上浮穴郡久万高原町露峰(33.619741N, 132.920658E), 採集方法: 見つけ採り, 個体数: 5♀1♂(うち1♀は轢死体), 採集者: 安田昂平, 標本保管: 面河山岳博物館.

種の特徴

前胸腹板は淡い赤色を呈し, 前脚基節の突起は小さく8–9個ある(写真1B).

備考

東温市では夜間に自動販売機に飛来していた個体

を採集, 久万高原町では道路を横断する個体や低木上で静止する個体を採集した. 本種は中国原産とされる外来種で, 愛媛県では2022年に大洲市と砥部町で初めて記録された(吉富ほか, 2023)が, 上記2地域以外での追加記録は得られていなかった. なお, 久万高原町では2022年10月に3例, 2023年9月に1例, 本種が写真により確認されており(浅木, 私信), 2021年かそれ以前に侵入していた可能性がある. ムネアカハラビロカマキリの侵入地域では, 在来種のハラビロカマキリ *H. patellifera* が見られなくなる置き換わり現象が報告されている(間野・宇野, 2014). 愛媛県では, 愛媛県立とべ動物園敷地内で2種の分布状況が調査されており, 現時点ではハラビロカマキリの極端な減少は生じていない(白潟・北本, 2025). 東温市, 久万高原町の両地点ともに, ハラビロカマキリも確認されているため, 今後の動向に注意が必要である.

謝辞

本報告にあたり, 撮影情報を提供いただいた浅木美佳氏にお礼を申し上げる.

引用文献

- 間野隆裕・宇野総一. 2014. 豊田市におけるハラビロカマキリとムネアカハラビロカマキリの分布動態と形態について. 矢作川研究, (18):41–48.
- 白潟綾・北本圭一. 2025. 愛媛県立とべ動物園におけるムネアカハラビロカマキリの生息調査. 面河山岳博物館研究報告, (10):33–36.
- 吉富博之・兵頭謙苺・兵頭康介・武智礼央・大松勇司. 2023. 愛媛県に侵入したムネアカハラビロカマキリ. 月刊むし, (624):18–20.

(2025年10月10日受付, 2025年10月16日公開)

連絡先: 安田昂平(e-mail: koheizari303@gmail.com)

(Kohei Yasuda and Leo Takechi. 2025. Additional records of *Hierodula chinensis* (Mantidae) in Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 25024)